

2. 家庭生活の状況

(1) 家族の生活に果たす役割 (Q1)

家族の生活に果たす役割を第8回調査と比較してみると、各国とも「家族・親族の相談相手になっている」の割合が、第8回調査より上位にあげられている¹。(図表2-2-1-1)

性別にみると、日本とドイツでは「家事を担っている」割合が男性(日本26.6%、ドイツ70.6%)より女性(日本75.6%、ドイツ79.4%)が高い。特に、日本では49ポイントの差がある。

また、日本、アメリカ、ドイツでは「家計の支え手(かせぎ手)である」と「家族や親族関係の中の長(まとめ役)である」で、女性より男性の割合が高い。一方、スウェーデンでは、いずれの項目でも男女間に大きな差はみられない。(図表2-2-1-2)

年代別にみると、「家事を担っている」割合は、各国とも、70歳代までは大きな差はみられない。

「家計の支え手(かせぎ手)である」の割合は、日本、アメリカ、スウェーデンの60~64歳(日本50.3%、アメリカ49.2%、スウェーデン50.0%)でほぼ5割だが、ドイツでは26.1%である。(図表2-2-1-3)

図表2-2-1-1 家族の生活に果たす役割(第8回比較)

		n	家事を担っている	小さな子供の世話をしている	家族・親族の相談相手になっている	家計の支え手(かせぎ手)である	家族や親族関係の中の長(まとめ役)である	病気や障害を持つ家族・親族の世話をしている	その他	特に役割はない	無回答
日本	第9回	1,367	52.2	4.4	25.7	30.4	17.0	10.1	3.5	17.3	0.5
	第8回	1,105	40.7	0.8	3.2	22.6	13.8	1.7	1.7	15.4	-
アメリカ	第9回	1,006	77.6	11.8	66.6	49.5	66.4	21.4	5.4	4.0	-
	第8回	1,003	26.9	3.5	9.0	10.7	28.8	2.1	2.6	16.3	0.2
ドイツ	第9回	1,043	75.5	8.1	22.3	23.6	38.0	12.4	1.3	8.5	0.1
	第8回	1,008	46.1	3.3	2.8	6.9	20.9	4.6	1.4	13.9	0.1
スウェーデン	第9回	1,528	79.1	1.7	17.1	37.2	16.6	4.6	5.1	8.3	1.8
	第8回	1,000	56.9	0.5	0.4	15.0	14.7	0.8	4.3	7.4	-

注) 第8回は単数回答。

¹ 第8回調査は単数回答での設問であることに留意。

図表 2-2-1-2 家族の生活に果たす役割(性別)

(%)

		n	家事を担っている	小さな子供の世話をしている	家族・親族の相談相手になっている	家計の支え手(かせぎ手)である	家族や親族関係の中の長(まとめ役)である	病気や障害を持つ家族・親族の世話をしている	その他	特に役割はない	無回答
日本	男性	651	26.6	2.5	27.5	49.3	29.3	8.1	3.1	19.8	0.8
	女性	716	75.6	6.1	24.0	13.1	5.7	11.9	3.9	15.1	0.3
アメリカ	男性	425	76.0	11.8	68.5	61.6	79.5	22.1	3.8	3.3	-
	女性	581	78.8	11.9	65.2	40.6	56.8	20.8	6.5	4.5	-
ドイツ	男性	469	70.6	7.2	25.6	39.7	53.5	11.5	1.5	6.2	-
	女性	574	79.4	8.9	19.7	10.5	25.3	13.1	1.2	10.5	0.2
スウェーデン	男性	763	81.4	1.7	19.1	40.5	15.6	3.9	5.4	7.5	1.0
	女性	765	76.9	1.7	15.2	34.0	17.6	5.4	4.8	9.2	2.5

図表 2-2-1-3 家族の生活に果たす役割(年代別)

(%)

		n	家事を担っている	小さな子供の世話をしている	家族・親族の相談相手になっている	家計の支え手(かせぎ手)である	家族や親族関係の中の長(まとめ役)である	病気や障害を持つ家族・親族の世話をしている	その他	特に役割はない	無回答
日本	60～64歳	195	50.8	4.6	23.6	50.3	16.9	13.3	2.1	4.1	1.5
	65～69歳	302	56.3	6.6	21.2	36.8	16.2	9.9	4.6	11.6	0.3
	70～74歳	372	54.6	5.9	30.4	28.5	18.0	10.8	2.7	16.4	0.5
	75～79歳	231	54.5	3.5	29.9	20.3	17.7	10.8	2.6	23.4	0.4
	80歳以上	267	43.4	0.4	22.1	19.9	15.7	6.4	5.2	29.6	-
アメリカ	60～64歳	189	75.1	16.9	70.9	49.2	57.7	27.5	7.4	4.2	-
	65～69歳	229	82.5	16.2	72.9	48.0	63.8	23.6	5.2	2.2	-
	70～74歳	209	80.4	12.0	66.5	50.2	66.0	20.1	3.3	3.3	-
	75～79歳	174	79.9	9.8	62.6	56.9	72.4	19.0	6.3	4.6	-
	80歳以上	205	69.8	3.9	59.0	44.4	72.7	16.6	4.9	5.9	-
ドイツ	60～64歳	268	80.6	10.4	25.7	26.1	36.6	16.4	1.1	4.9	-
	65～69歳	209	75.1	10.0	20.6	22.5	36.4	12.9	1.4	5.7	-
	70～74歳	204	80.4	10.8	26.5	21.6	37.7	10.8	1.5	6.4	-
	75～79歳	194	72.7	5.2	20.6	21.6	37.1	11.9	1.0	9.8	0.5
	80歳以上	168	64.9	2.4	16.1	25.6	43.5	7.7	1.8	19.0	-
スウェーデン	60～64歳	302	85.4	3.3	29.1	50.0	20.9	9.9	5.3	5.3	1.3
	65～69歳	329	84.8	2.7	23.4	38.6	16.7	5.2	4.9	4.6	0.6
	70～74歳	355	80.6	1.1	13.8	33.2	16.6	2.8	4.2	8.5	2.0
	75～79歳	254	81.1	0.8	12.6	33.5	15.0	2.4	4.3	4.3	2.0
	80歳以上	288	62.5	0.3	5.6	30.6	13.5	2.8	6.9	19.1	3.1

(2) 別居している子供との接触頻度 (Q2)

別居している子供を持つ高齢者の、別居している子供との接触頻度を第8回調査と比較してみると、各国とも「ほとんど毎日」の割合は、第8回よりやや減少している。(図表2-2-2-1)

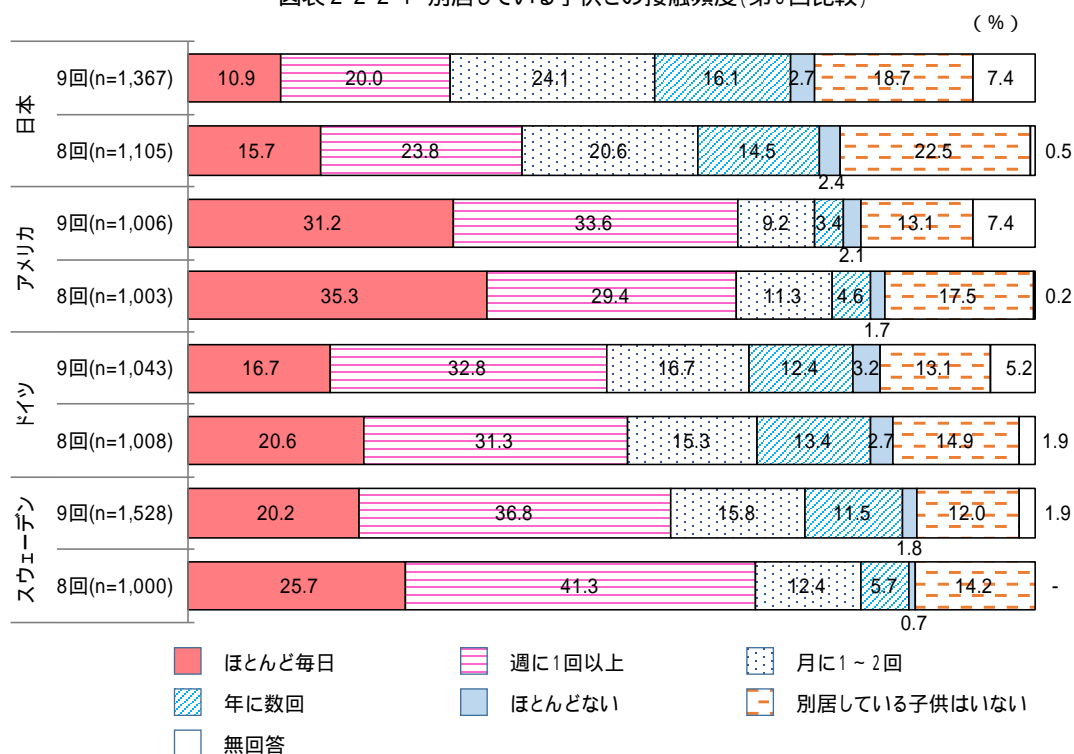
性別にみると、日本、アメリカ及びスウェーデンでは「ほとんど毎日」の割合は、男性(日本6.9%、アメリカ22.8%、スウェーデン16.6%)より女性(日本14.5%、アメリカ37.3%、スウェーデン23.8%)が高く、特にアメリカで男女差が大きい。

一方、ドイツでは、「ほとんど毎日」(男性16.0%、女性17.2%)の割合に、男女差はみられない。(図表2-2-2-2)

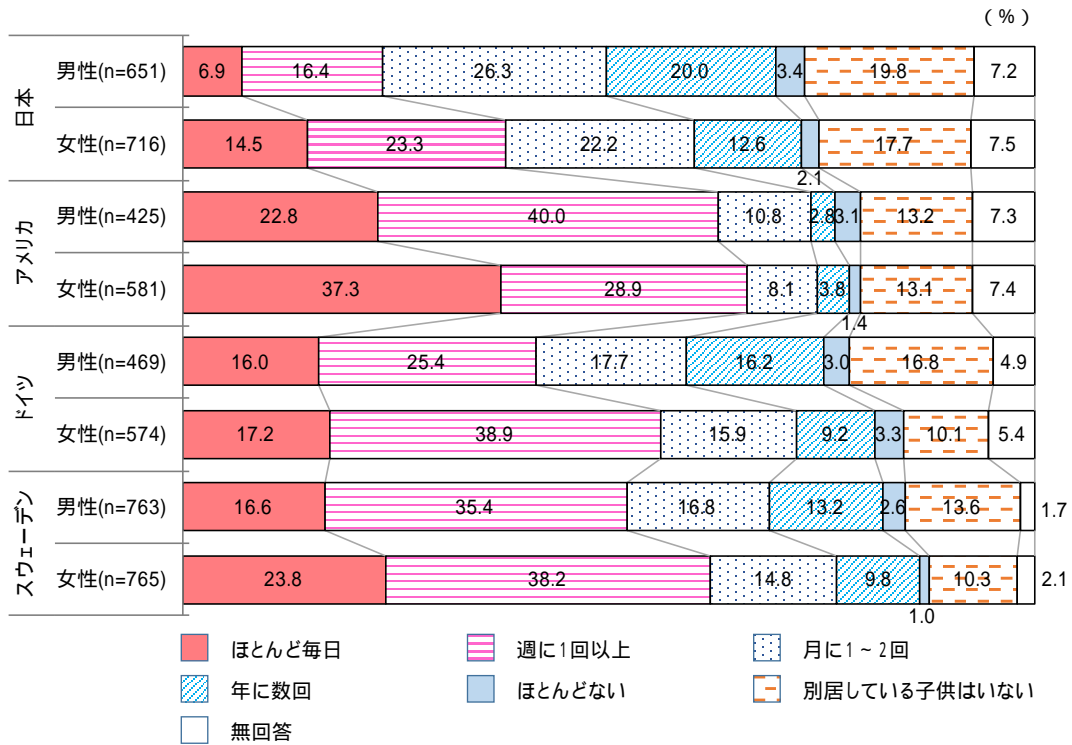
年代別にみると、日本では80歳以上になると、「週に1回以上」から「年に数回」に回答が分散している。

一方、欧米3か国では、いずれの年代でも「週に1回以上」の割合が、最も高くなっている。(図表2-2-2-3)

図表2-2-2-1 別居している子供との接触頻度(第8回比較)



図表 2-2-2-2 別居している子供との接触頻度(性別)



図表 2-2-2-3 別居している子供との接触頻度(年代別)

(%)

		n	ほとんど毎日	週に1回以上	月に1~2回	年に数回	ほとんどない	別居している子供はいない	無回答
日本	60~64歳	195	6.2	17.9	22.6	19.5	2.6	26.2	5.1
	65~69歳	302	12.9	18.2	26.5	13.2	2.6	20.9	5.6
	70~74歳	372	11.8	21.8	25.5	15.3	2.7	18.3	4.6
	75~79歳	231	10.4	22.1	26.8	16.5	0.9	14.7	8.7
	80歳以上	267	11.2	19.5	18.4	17.6	4.5	15.0	13.9
アメリカ	60~64歳	189	30.2	31.2	9.0	2.6	1.6	17.5	7.9
	65~69歳	229	32.3	34.1	7.0	1.7	1.7	14.4	8.7
	70~74歳	209	29.2	30.1	13.4	3.3	1.9	15.3	6.7
	75~79歳	174	31.6	33.9	9.2	5.2	1.7	10.9	7.5
	80歳以上	205	32.7	38.5	7.8	4.4	3.4	7.3	5.9
ドイツ	60~64歳	268	15.7	21.6	19.0	13.4	2.6	18.3	9.3
	65~69歳	209	12.4	34.4	16.7	13.4	2.9	15.3	4.8
	70~74歳	204	20.1	30.4	17.6	11.8	5.4	11.8	2.9
	75~79歳	194	15.5	39.7	14.9	12.9	3.1	10.3	3.6
	80歳以上	168	20.8	43.5	13.7	9.5	1.8	7.1	3.6
スウェーデン	60~64歳	302	19.9	37.7	15.9	9.3	2.0	14.2	1.0
	65~69歳	329	22.8	37.7	15.5	10.9	0.9	11.6	0.6
	70~74歳	355	18.0	35.8	18.0	11.3	1.7	13.5	1.7
	75~79歳	254	16.1	37.0	18.9	13.8	2.0	10.6	1.6
	80歳以上	288	24.0	35.8	10.4	12.8	2.8	9.4	4.9

(3) 子供や孫とのつきあい方(Q3)

老後における子供や孫とのつきあい方を第8回調査と比較してみると、日本では、「子供や孫とは、いつも一緒に生活できるのがよい」(第8回 27.1% 第9回 18.8%)の割合が第8回調査より減少し、代わって「子供や孫とは、ときどき会って食事や会話をするのがよい」(第8回 50.5% 第9回 56.8%)の割合が高くなっている。

欧米3か国に大きな変動はみられない。(図表 2-2-3-1)

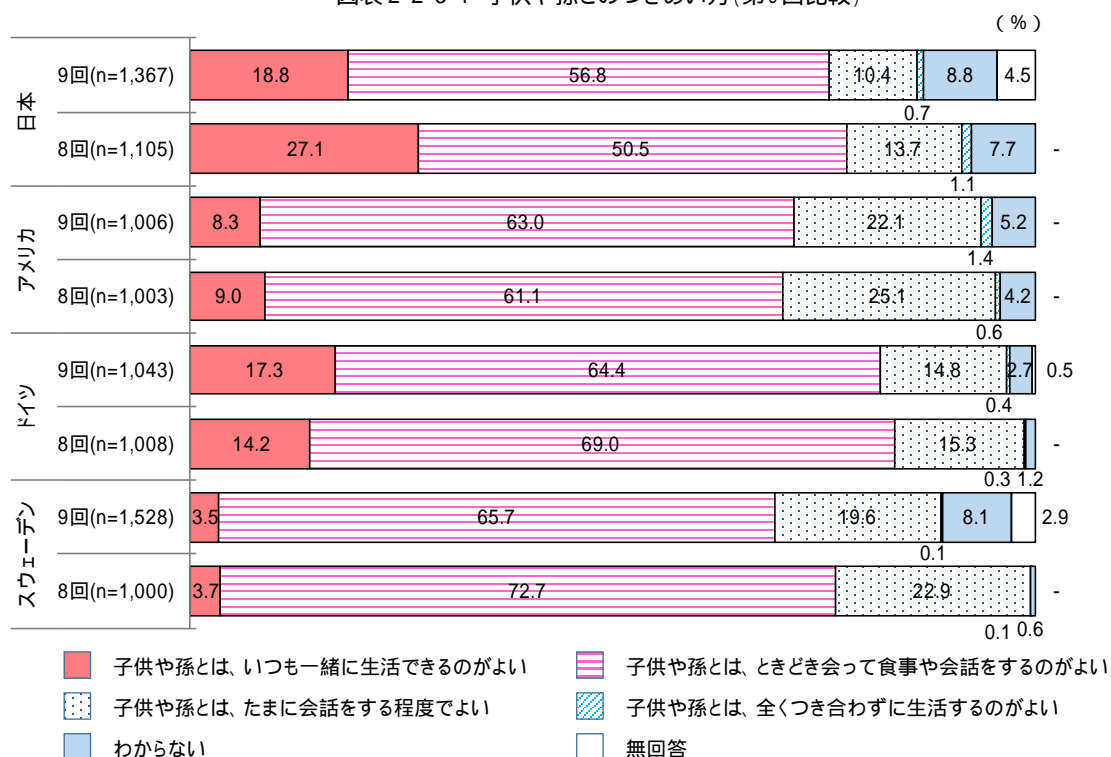
性別にみると、日本では、男女差がみられない。

欧米3か国では、「ときどき会って食事や会話をするのがよい」の割合は男性(アメリカ 55.8%、ドイツ 61.0%、スウェーデン 60.8%)より、女性(アメリカ 68.3%、ドイツ 67.2%、スウェーデン 70.6%)が高くなっている。(図表 2-2-3-2)

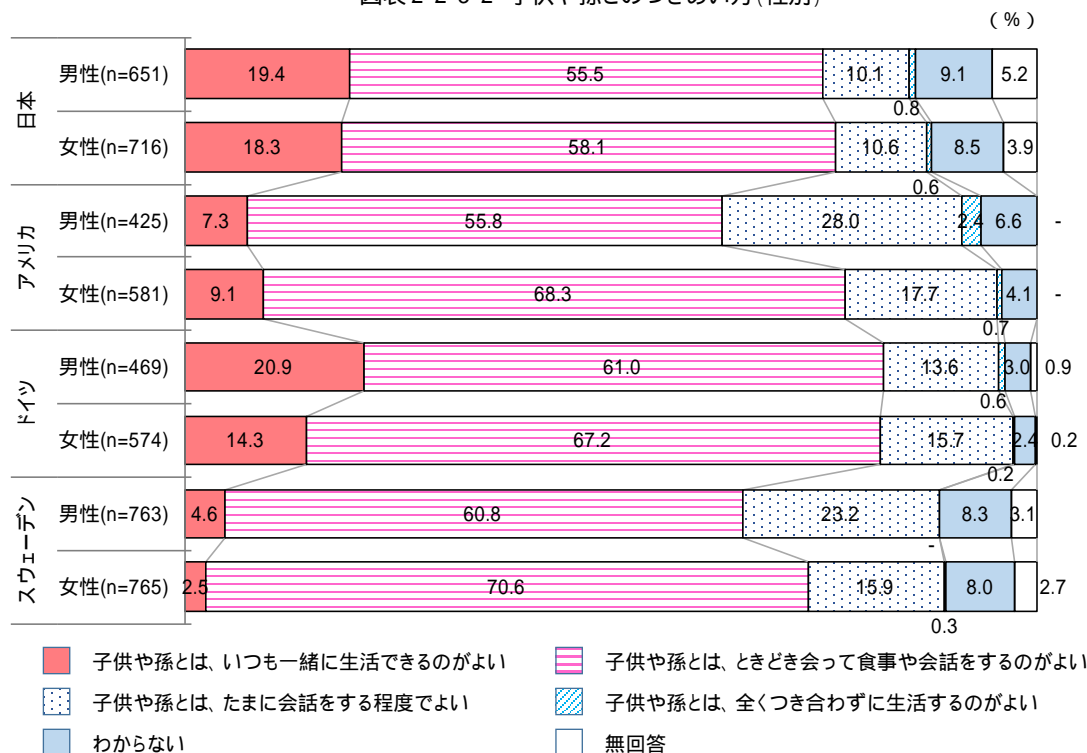
年代別にみると、日本では、年代が高くなるほど「いつも一緒に生活できるのがよい」の割合が高い傾向にあり、「80歳以上」(28.1%)では3割近い。

アメリカとスウェーデンでは、「ときどき会って食事や会話をするのがよい」の割合は年代の低い層ほど、「子供や孫とは、たまに会話をする程度でよい」は年代の高い層ほど、高い傾向がある。(図表 2-2-3-3)

図表 2-2-3-1 子供や孫とのつきあい方(第8回比較)



図表 2-2-3-2 子供や孫とのつきあい方(性別)



図表 2-2-3-3 子供や孫とのつきあい方(年代別)

(%)

		n	子供や孫とは、いつも一緒に生活できるのがよい	子供や孫とは、ときどき会って食事や会話をするのがよい	子供や孫とは、たまに会話をする程度でよい	子供や孫とは、全くつき合わずに生活するのがよい	わからない	無回答
日本	60～64歳	195	10.8	61.0	11.3	0.5	10.8	5.6
	65～69歳	302	16.2	59.9	7.9	-	10.9	5.0
	70～74歳	372	17.7	60.5	9.4	1.3	6.5	4.6
	75～79歳	231	19.9	59.3	7.4	-	7.8	5.6
	80歳以上	267	28.1	43.1	16.5	1.1	9.0	2.2
アメリカ	60～64歳	189	11.6	69.8	11.6	2.1	4.8	-
	65～69歳	229	9.6	66.4	19.2	0.9	3.9	-
	70～74歳	209	7.2	63.2	21.5	1.0	7.2	-
	75～79歳	174	6.3	60.9	27.0	-	5.7	-
	80歳以上	205	6.8	54.6	31.2	2.9	4.4	-
ドイツ	60～64歳	268	18.3	63.1	13.1	0.4	4.1	1.1
	65～69歳	209	19.1	63.2	14.4	1.0	1.9	0.5
	70～74歳	204	15.2	63.7	18.1	0.5	2.0	0.5
	75～79歳	194	18.6	64.4	14.4	-	2.6	-
	80歳以上	168	14.3	69.0	14.3	-	2.4	-
スウェーデン	60～64歳	302	8.3	71.9	10.3	0.3	7.0	2.3
	65～69歳	329	4.3	72.0	15.5	-	5.8	2.4
	70～74歳	355	1.4	67.3	22.0	-	7.6	1.7
	75～79歳	254	1.6	64.2	22.4	0.4	7.1	4.3
	80歳以上	288	2.1	51.4	28.5	-	13.5	4.5